

TMT-A という注意機能の検査です。

1から25までの数字を順番に線で繋げていきます。

時間と間違いの数を計測します。

25

24

20

11

10

23

19

21

18

22

9

7

12

1

2

17

8

13

5

4

3

6

14

16

15